

「選択セルの変換」機能について

セルのセクションでは、以下のコマンドが使用できます。
このうち「**選択セルの変換**」について取り上げます。

- 選択セルを変換
- 入力値生成
- 行列の入替え移動
- セルのサマリ
- セルの属性

① 「ActiveData」タブをクリックします。

② 「ActiveDataワークシートコマンド」グループ内の「セル」から「選択セルを変換」をクリックします。

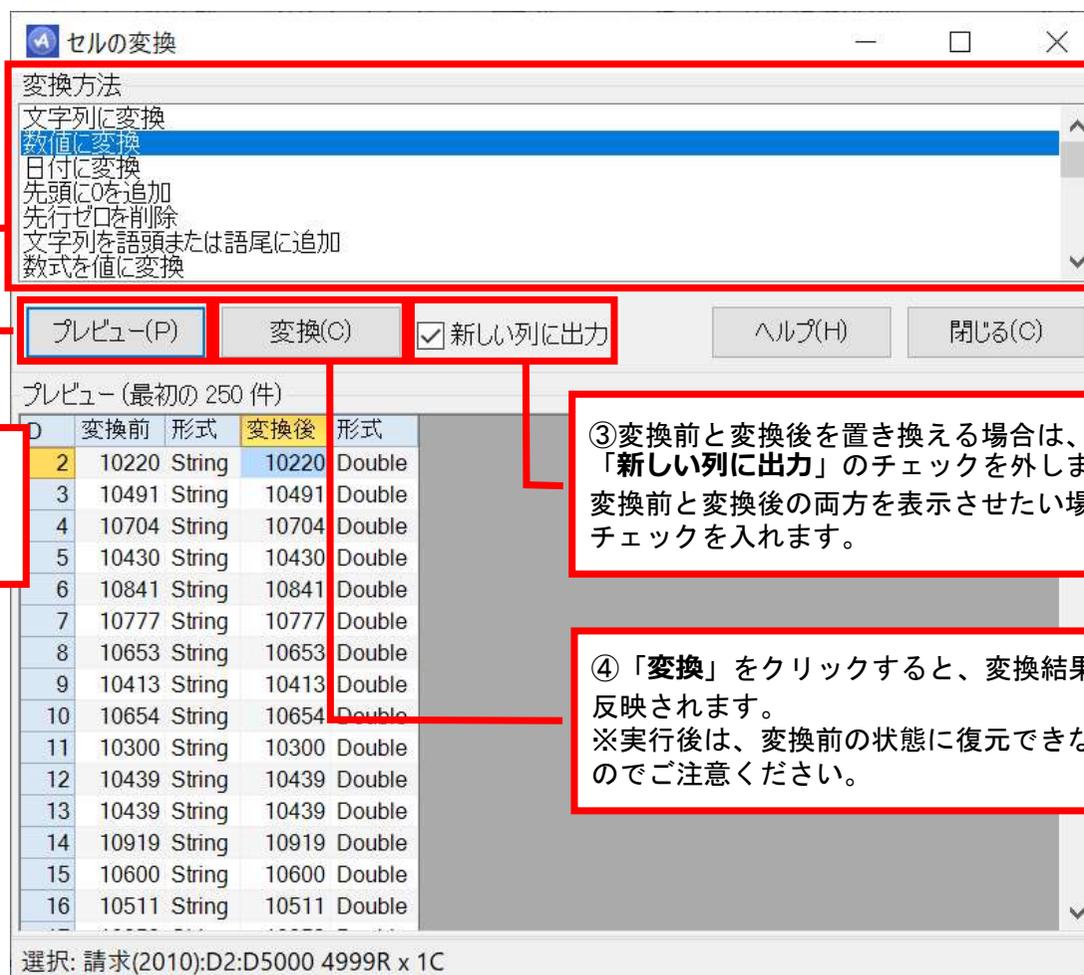
日	顧客番号	営業担当者番	製品番号	数量	単価
2010/3/5	10220	8	8	4	299.0
2010/2/9	10491	4	4	4	279.0
2010/2/22	10704	3	1	3	299.9
2010/2/9	10430	5	54	4	199.0
2010/2/28	10841	17	11	2	129.00

「セル」 【選択セルの変換】機能説明

① 「変換方法」を選択します。

② 「プレビュー」をクリックします。
※ダイアログボックス下部のプレビューグリッドに変換結果が表示されます。

【ご注意ください!!】
元来、ActiveData For Excelは英語圏を対象としてシステム開発されたデータ監査ソフトであることから、日本語版ActiveData For Excelにおいても、一部機能は英語を想定した動作をします。
そのため文字種別の判定においても、コマンドによって全角文字の分類結果が変わることがあります。



③ 変換前と変換後を置き換える場合は、「新しい列に出力」のチェックを外します。
変換前と変換後の両方を表示させたい場合は、チェックを入れます。

④ 「変換」をクリックすると、変換結果がシートに反映されます。
※実行後は、変換前の状態に復元できなくなりますのでご注意ください。

「セル」 【選択セルの変換】機能説明

選択できる変換方法は以下の通りです。

- **文字列に変換**： 先頭にアポストロフィ “ ” をつけて文字列にします。
- **数値に変換**： 文字列形式の数字を数値形式にします。
- **日付に変換**： 文字列形式の日付を日付形式にします。
- **先頭に0を追加**： 必要な文字数になるまで先頭に “0” を追加し、文字列に変換します。
- **文字列を語頭または語尾に追加**： 表示されるダイアログの “[\$]” の前後に文字列を追加します。
“[\$]” はセルの値を示しています。
- **数式を値に変換**： 数式を計算結果の値に置き換えます。
- **語頭を大文字に変換**： 単語の語頭を大文字に、それ以外を小文字に変換します。
- **大文字に変換**： 英字を大文字に変換します。
- **小文字に変換**： 英字を小文字に変換します。
- **先頭の空白を削除**： 先頭にあるスペースを削除し、文字列形式にします。
- **末尾の空白を削除**： 末尾にあるスペースを削除し、文字列形式にします。
- **先頭と末尾の空白を削除**： 先頭と末尾にあるスペースを削除し、文字列形式にします。
- **全ての空白を削除**： 先頭と末尾および文字列中にあるスペースを削除し、文字列形式にします。

「セル」 【選択セルの変換】機能説明

- **連続した空白を一文字分に削除**： スペースが連続していた場合一文字分を残して削除し、文字列形式にします。
- **印刷できない文字を削除**： 印刷不可能なバイナリコードを削除し、文字列形式にします。
- **英字以外を削除**： アルファベット以外を削除し、文字列形式にします。
- **数字を削除**： 数字を削除し、文字列形式にします。
- **数字以外を削除**： 数字以外を削除し、文字列形式にします。
- **数字以外の文字を削除（小数点はそのまま）**： 「数字以外を削除」とほぼ同じですが、小数点は削除されません。
- **英数字以外を削除**： 英数字以外を削除し、文字列形式にします。
- **ハイパーリンクを削除**： ハイパーリンクを削除します。値はそのまま残されます。
「プレビュー」ボタンを押すと確認ダイアログが表示され、「確認」ボタンを押すと実行されます。
- **HTMLテーブルに変換（書式設定あり）**： 「変換」ボタンを押すと「生成したHTML」ダイアログが表示され、HTMLが生成されます。中央の「browse」ボタンを押すと、ブラウザで表示されます。
- **HTMLテーブルに変換（書式設定なし）**： HTMLテーブルに変換（書式設定あり）と動作は同じですが、生成されるのは単純なHTMLテーブルです。